矢野医事課長補佐

1:推進委員会の開催

- ●平成29年3月に策定した「滝川市立病院経営計画」において、年度ごとに点検・評価を行い、その 結果を公表することとなっている。
- ●平成29年度決算が確定したため、点検・評価のための委員会を開催した。

2:推進委員

●滝川市立病院の運営について、第三者による点検・評価を行うため、病院の運営に深く関与する 団体から推薦を受けた方を委員として選任した。また、委員長及び副委員長は前年の委員会で選任 している。

滝川市医師会 文屋 学(委員長) 滝川市市立病院

滝川市社会福祉協議会 椿坂 幸夫(副委員長) 堤院長 椿事務部長

八幡 吉宣

青山医事課長

滝川市役所中島 純一畑原事務課経営管理係長高林事務課経営管理係主査

3:推進委員会の開催(平成30年10月22日(月)18時30分 市立病院3階会議室1)

- ●滝川市立病院経営計画の進捗状況の報告
 - ・H29年度決算における経営計画の進捗状況
 - ・計画に対する達成度

北海道税理士会滝川支部

- ・個別の取り組み状況
- ・H30年9月までの経営状況(収支等)
- ●その他(滝川市立病院への意見等)

●主な発言

- ・支出に関して節約している努力が見える。努力している姿を「市民報告会」のような形で報告し、場合によっては職員の表彰なども行い、病院のがんばっている姿を広くアピールしては?
- ・入院患者が減ることは健康な人が増えるということではないか。入院患者が少なくなって経営 が厳しくても市、市議会、市民は市立病院を支えていく必要がある。
- ・高齢者が増加し、今まで自分でできていたことを他に要望することが増える傾向にある。きちんとした対応が求められる時代になっている。
- ・市民の多くは市立病院を信頼している。苦情等に対しても一件ごと誠実に対応している。病院の質は高い。これらの雰囲気、環境、人の強みをきちんと出していく必要がある。
- ・患者数が多ければいいものではない。予防医療など時代に即したものも検討しては?
- ・地域包括ケア病棟を増やす考えはあるか。
- ・高齢化で病院に来れない患者のために訪問診療・訪問看護を増やす考えはあるか。
- ・開業医も高齢化しており平均年齢61歳なので訪問診療もきついため市立病院でやってほしい。
- ・民間では収益を上げるためには客数か客単価を増やすことしかないが、病院でも同じことができるか。

4: 今後の進め方

- ●毎年決算が確定した時期に推進委員会を開催し、進捗状況を報告する。
- ●H31年度計画目標値の修正がある場合は、年度内にお集まりいただくことも考えている。

